

## 第152回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年9月15日（木）16:00～16:15
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### （1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

資料1、5ページをお願いいたします。

昨日の新規陽性者数は1,278人で、9月6日から9日連続で前の週の同じ曜日を下回っております。

次に、4ページ。

9月14日現在の療養者の状況です。

入院者は322人、うち重症者は0人となっています。

療養者数の合計は8,558人、このうち自宅療養者数は7,998人でいずれも1万人を下回っております。

病床等の状況についてですが、資料の数字に変更はございませんけれども、入院待機ステーションを新たに会津若松市に設置し、9月12日より運用を開始いたしました。

これにより、現在、福島市、郡山市、会津若松市の3箇所入院待機ステーションを運用しております。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は482.39人。

8月23日にこれまでで最多となって以降、概ね減少傾向にあり、500人を下回りました。

次に、8ページ。

病床使用率は42.3%。

9月4日以降、レベル2の基準で推移しています。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数は、466.85人。

こちらも概ね減少傾向にあり、500人を下回りました。

次に、12ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

郡山市が600人を上回っているほか、

南相馬市を除く各市で400人台となっております。

次に、13ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

二本松市が600人を超えているほか、田村市が597.12人、本宮市、喜多方市において400人台となっております。

次に、14ページ。

モニタリング指標です。

「入院率」(3.8%)、「人口10万人当たりの療養者数」(466.85人)、

「PCR陽性率」(37.0%)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(482.39人)が、レベル3、

「病床の使用率」(42.3%)がレベル2、

「重症者用の病床使用率」(0%)が、レベル1となっております。

次に、資料3 16ページ をお願いいたします。

「自宅療養をされる皆様へ」というパンフレットのご紹介です。

自宅療養をされる方々が安心して療養できるように注意点や感染対策についてまとめたものをホームページに掲載いたしました。

ご家庭内の感染につなげないために、「感染予防 8つのポイント」として、整理いたしましたので、ぜひご活用いただきたいというふうに考えております。

## (2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

17ページ、資料4をご覧ください。

### 【資料4】

まず、接種実績ですが、9月13日時点で、3回目接種の回数が、

1,324,616回、全人口に対する接種率は72.0%、また、高齢者や医療従事者等を対象とする4回目接種は、530,401回となっております。

資料右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が42.9%、2回目が40.1%となっております。

次に、資料中段の囲みの部分です。2回目接種完了者全員が3回目接種を希望すると仮定して算定した、いわゆる想定対象者に対する接種率ですが、3回目接種については87.1%、4回目接種については、想定対象者のうち人数の把握が可能な60歳以上の方、約63万5千人を母数とした場合、74.2%となっております。

次ページをお願いします。

「オミクロン株対応ワクチンの接種」についてであります。

昨日9月14日に開催された、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会での資料になります。

資料の中程から下をご覧ください。

「2. 対象者」について、初回接種を終了した、ファイザー社製ワクチンは12歳以上、モデルナ社製ワクチンは18歳以上の者とすること、

「3. 接種間隔及び接種方法」について、前回の接種から少なくとも5ヶ月以上の間隔を空け、1回の接種を行うこと、

「4. 交接種」について、前回までに用いたワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応ワクチンによる追加接種を行うこと、以上について、当分科会において承認されました。

なお、3の接種間隔については、今後、海外の動向、有効性、安全性等の情報を踏まえ、接種間隔を短縮する方向で検討し、10月下旬までに結論を得ることとされております。

次のページをお願いします。

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施についてですが、期間が今年30日までとされておりましたが、令和5年3月31日まで延長されることが示されました。

現在、県を通して市町村に対するワクチンの配分作業を行っており、来週20日以降、準備が整った自治体からオミクロン株対応ワクチンの使用が始まる予定となっております。

次のページをお願いします。

オミクロン株対応ワクチンの接種には、初回接種を完了していることが要件であるこ

とから、より多くの方々に速やかに接種をしていただけるよう、県内4会場でノババックス社ワクチンによる初回接種を実施しておりますので、希望される方はぜひ御予約をお願いいたします。

(金光教授)

全体的にはですね、減少傾向であってそう悪くはないのかなというふうに思っておりますけれども、減少幅がですね、相変わらず少ないというふうに思っております。

そんなこともあって、未だに一日の新規陽性者は1,000人を超えているという状況でございます。

これは決して満足できる状態ではないというふうに思いますし、また病床利用率も少しずつは下がっておりますけれども、今も40%以上あるということです。

こういう状態においてはですね、決して基本的感染対策を緩められるという状況にはないんだということを県民の皆様にはですね、ご認識をいただければというふうに思います。

(知事)

はじめに、県民の皆様のため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様、そして、シルバーウィークの連休中も引き続き御対応いただく皆様に、改めて、敬意と感謝の意を表します。

全国では、1日当たりの新規陽性者数が、前の週の同じ曜日を下回る日が続くなど減少傾向にあります。

本県においても、新規陽性者数は、依然として第6波のピーク時と比べて高い水準にあるものの、前の週の同じ曜日を下回る日が続くなど、減少傾向が続いています。

本県では、医療従事者の感染等によるスタッフの減少や病床使用率の上昇により、医療提供体制が危機的な状況にありましたが、新規陽性者数が減少し、確保病床の使用率が「BA.5対策強化宣言」の発出の目安となる50%を下回っているほか、陽性者や濃厚接触者となり出勤できない医療スタッフも減少しています。

こうした状況を総合的に勘案し、「福島県医療非常事態宣言」、そして、「BA.5対策強化宣言」を兼ねた「福島県感染拡大警報強化版」を19日で終了し、基本対策に移行することとします。

この間、県民の皆様、事業者の皆様には、感染拡大の防止に向けて、御理解、御

協力をいただきました。ありがとうございます。

一方、現在も新規陽性者数が第6波のピークを大幅に上回る状況であります。このため、引き続き、医療を守る対策や基本的な感染対策を実施していただくことが必要です。

まず、医療体制を守るため、医療機関を受診する際は、緊急を要する場合を除き、平日の診療時間内に受診いただくとともに、重症化リスクが低く軽症である場合は、「福島県陽性者登録センター」を利用するなど、地域医療への負荷を減らすための御協力をお願いします。

次に、これからお彼岸や秋の行楽シーズンを迎えます。いつもと違う行動をすることにより、感染リスクが高まりますので、特に次の2点に気をつけてください。

1つ目は、普段会わない方と会う機会が多くなります。

体調が悪い時は人と会わない、マスクを正しく着用する、人と人との距離を確保するなどの対策をお願いします。

2つ目は、飲食時は感染リスクが高まりますので、短時間で行う、距離を取る、会話時はマスクを着用するなどの対策をお願いします。

お彼岸を迎え、親戚等が多く集まる場合は、特に注意をお願いします。

また、お店を選ぶ際には、感染防止対策の徹底された認定店を利用してください。

次に、学校等における感染対策です。

お子さんの年代で感染者数が増えています。発熱や咳等の症状が少しでもある場合には、登校や登園を控えていただくとともに、御家族に症状がある場合は、登校や登園について学校等に御相談ください。

また、学校等で、学習活動や部活動、課外活動を行う際には、感染対策に十分注意をしていただきますようお願いいたします。

県内の新規陽性者数は、全体として減少しているものの、いまだに高い水準にあります。

「福島県医療非常事態宣言」と、「福島県感染拡大警報強化版」は19日をもって終了

しますが、これは対策を緩めるということではありません。

地域医療を守り、御自身や大切な方の命と健康を守るためにも、県民の皆様お一人お一人が、連休中や学校生活など様々な場面で、感染リスクの高い行動を控え、しっかりと基本的な感染対策を継続していただくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。